

# 消防団たずね歩き

住吉第一分団 副分団長 本田 裕康

## 神戸市の消防団の活動エリア

ひと括りに消防団と言っても神戸市内においては、その消防団の活躍場所は様々であり、都市部分を管轄するエリア、農村部を管轄するエリア、新しい住民が多く住むニュータウンエリア、海沿いを管轄するエリアといった形でその一つの消防団をピックアップしても多くのニーズがあると思います。

## 東灘区の消防団

前述したように東灘区の消防団は都市部分、海沿いのエリアを管轄した団が存在し、台風などの警報、防災指令発令の際は防潮鉄扉閉鎖を行うなどのその土地ならではの仕事があります。また東灘区は伝統行事でもあるだんじり祭りが盛んな地域でもあり私も含め、だんじりに参加している団員も数多く在籍しています。



## 東灘消防団 住吉第一分団とは

私が所属するの住吉第一分団は、住吉小学校と阪神電車の上に詰所を持ち、管轄するエリアは北は渦森台、南は阪神電車の辺りまでを担当し、消防活動はもちろんのこと、地域行事にも警備で巡回させて頂いたり、防災福祉コミュニティを通じて地域住民の方、各町自治会、各地区協議会の方と連携を図って行くことに努力をしています。

1年を通じて小型動力ポンプの操作訓練やホース延長、収納訓練を実施し、団員の技術向上にも力を入れております。女性団員も在籍し、活動にも意欲的な団員が多く存在し、住吉町にとっても東灘区にとってもプラスになる分団であると心から思っております。

## 火災現場で感じたこと

火災現場での放水作業は、消防職員によって行われるので基本的に放水に消防団は携わりませんが、放水終了後のホース収納いわゆる片付け作業に携わる事が多いです。入団当初、しっかりホースを巻く事が出来ませんでした。消防職員や先輩団員が現場で迅速かつ丁寧なホース巻きをするのを見て、「これくらいは出来なアカン」そう感じ、他の団員と訓練を繰り返し、実際の火災現場ではしっかりとホース収納ができるようになりました。日頃の訓練が如何に大切かを現場で思い知らされました。また火災現場では、避難された方に消防や警察の方が細かく火災の現場には誰が住んでいるか、何人家族か、隣は誰か。などの安否確認や地域との関係性を聞いているのを目にし、やはり消防団員として地域の繋がりを持っていないといけないなと痛感しました。

これからも地域の安全安心を守るためにもしっかり訓練し、地域安全の担い手になりたいと思います。